

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
2年 AB	保育内容・音楽表現	岡里 美幸	
サブタイトル	乳幼児を育む音楽表現活動	単 位 数	1
授業形態	演習	出席要件	4 / 5 以上
開講時期	後期		
到 達 目 標			
乳幼児を育む音楽表現活動の理解と実践			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 乳幼児の音楽表現活動を理解し、発達段階に応じた指導ができる。 2. 指導案の構成を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。 3. 保育者としての専門的知識、技能や表現力を身につけ、乳幼児を育む音楽表現活動の実践に生かすことができる。 			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
カリキュラムマップの「保育を構築する」に位置付けされ、本授業により、保育者としての専門的技能及び表現力を身につけ、実践力を高める。			
授 業 の 方 法			
保育現場での音楽あそび（手あそび、歌あそび、楽器あそび、視聴覚教材や手作りおもちゃを使った歌あそび、わらべうたあそび、リトミックなど）を体験し、指導の実際を知る。具体的な保育を想定した指導案の作成に取り組む。模擬保育を行い、その振り返りを通して、保育を改善する視点を身につける。			
テキスト・教材・参考図書			
<p>テキスト：『領域「表現」子どもと楽しむための音楽表現』柳澤邦子編著 フレーベル館 2014年 『領域「表現」子どもと楽しむための音楽素材集』柳澤邦子編著 フレーベル館 2018年 『幼児とともに』聖徳大学・聖徳大学短期大学部音楽Ⅰ研究室編 聖徳大学出版 2014年</p> <p>参考図書：『幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領 保育所保育指針』チャイルド本社 2017年 『楽譜集 感じる心を育てる幼児のうた』柳澤邦子・三谷亜矢編 フレーベル館 2014年</p>			
評 価 の 要 点		総合評価割合	
模擬保育形式で行う実技発表への取り組み、授業課題、作品、レポート（指導案）を総合的に評価する。		実技	25%
		授業課題	25%
		作品	25%
		レポート	25%
履修上の注意事項や学習上の助言など			
保育現場や音楽教室での、歌唱・リトミック講師としての指導経験を生かした授業で、乳幼児を育む音楽表現活動の指導方法を実践的に学びます。			
注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・課題の提出期限を守ること。 ・授業を欠席した場合はテキストの該当箇所を読むなどして補うこと。 			

授業回数別教育内容		身につく資質・能力
1回	〈ガイダンス〉乳幼児期において育みたい資質・能力と音楽の役割について 授業の目標、内容、評価などについて理解する	授業内容の理解
2回	手あそび指導の実際 手あそびの意義と音楽的役割を理解し、導入や展開の仕方など指導法を学ぶ 模擬保育形式の発表	実践力 手あそびの指導法の理解
3回	視聴覚教材や手作りおもちゃを使った歌あそび 視聴覚教材を製作し、子ども達への見せ方を考える	発想力 実践力
4回	歌唱指導の実際 乳幼児の歌う活動を理解し、発達に即した歌唱指導のあり方を学ぶ	実践力 歌唱指導法の理解
5回	乳幼児の発達と表現活動 乳幼児の表現活動を知り、保育における評価の考え方を理解する —実習を振り返って	乳幼児の発達と 保育者の役割の理解
6回	わらべうたあそびの実際 わらべうたあそびの意義を理解し、保育の場における指導の実際を知る	わらべうたあそびの 指導法の理解
7回	楽器あそびの実際① 乳幼児のひく活動を理解し、発達に即した楽器あそびの実際を知る 楽器の扱い方や奏法を知る	楽器あそびの 指導法の理解
8回	楽器あそびの実際② グループで楽器あそびの模擬保育を行う	楽器の演奏法の理解 指導法の理解
9回	メロディーベルのあそび 発達に即したメロディーベルあそびの実際を知る メロディーベルの扱い方や奏法を知る	メロディーベルあそび の指導法の理解 実践力
10回	音あそび・サウンドエデュケーション 様々な音あそび、サウンドエデュケーションの演習を行う	サウンドエデュケーション を保育現場で活用 する力
11回	リトミック指導の実際 保育におけるリトミック教育を理解し、模擬保育形式で実践する	専門知識の修得 実践力 適切な指導方法の理解
12回	音あそび・音楽あそびの実際① 音や音楽を使ったごっこあそびを体験し、指導方法を学ぶ	適切な指導方法の理解
13回	音あそび・音楽あそびの実際② グループで音や音楽を使ったごっこあそびを制作し、模擬保育を行う	発想力 構成力 実践力
14回	〈まとめ〉授業での学びを生かし、具体的な指導場面を想定して保育を構想する 音楽あそびの制作と指導案の作成	構成力 適切な指導方法の理解 指導案を書く力